

令和6年度 住吉区総合防災訓練 実施結果



1 概要

○目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行い、行政としての災害対応能力の強化を図るとともに、災害時の避難所について、各地域が迅速かつ円滑な避難所の開設・運営が行えるように、地域の総合的な防災力の向上をめざす。

また、女性をはじめとする多様なニーズを反映した避難所運営にむけて取り組むとともに、福祉避難所との連携訓練を実施していく。

○日時

令和6年11月9日(土) 9時～12時

○場所

災害時避難所、町会一時避難場所、住吉区役所 他

○参加者

合計：約4,800人(令和5年度：約4,600人、令和4年度：約4,200人、令和3年度：約2,000人)

<内訳>

地域住民 約4,500人、区役所職員150人、住吉区在住の大阪市職員(直近参集者)60人、
その他関係機関 約130人

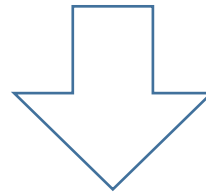
2 令和6年度 住吉区総合防災訓練

地震発生！

⇒9:00 訓練開始！

(町会一時避難場所、災害時避難所に集合)

9:00頃
防災スピーカーから
サイレンが鳴ります！



町会災害対策本部の設置訓練
(町会長、町会役員等)

一般の方も
参加します

1. 一時避難場所に町会本部を設置

集まった参加者へ
訓練の内容と避難場所等について説明

2. 無線通信訓練(地域本部と通信)

3. 安否確認訓練

4. 災害時避難所への避難訓練 **重点**

【その他】

- ・救助資器材の点検、使用訓練
- ・ケガ人や要援護者の搬送訓練(車イス等)
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練(消火器の確認等) など

3 災害時避難所の開設・運営

重点

地域災害対策本部の設置訓練

地活協役員
及び防災
リーダー等

避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など

- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など

- 区本部とのMCA無線通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など

- 状況付与への対応訓練

【その他】

- ・ 避難支援・誘導訓練 など

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 部屋のしつらえ、看板等の設置・表示
- 避難者の部屋への誘導(避難所見学対応)
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で区分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

女性をはじめ
とする多様な
ニーズを反映し
た避難所運営

福祉避難所との
連携訓練

4 区災害対策本部の設置・運営訓練

区災害対策本部の設置・運営訓練

1. 本部設置・情報収集・伝達訓練(庶務班)

- 区災害対策本部の設置(4階大会議室)
- 地域本部とのMCA無線通信訓練
- 防災情報システム通信訓練
- ボランティアセンターとの無線通信訓練
- 広報訓練(X:旧Twitter)

2. 災害時避難所での受入れ(避難受入班)

- 地域と連携した避難所開設訓練

3. 被災者の医療救護、 区医師会等との連絡調整(保健福祉班)

- iisumiによる情報収集
- 福祉避難所とのデジタル無線通信訓練
- EMISへの登録訓練

5 避難所開設訓練状況

● 地域が開設 20箇所

▲ 職員のみで開設 13箇所

— 開設せず(使用不可) 4箇所

災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設
墨江小学校	●	大領中学校	▲	浪速中学校・高等学校	—
清明学院高等学校	—	帝塚山学院(第2体育館)	—	苅田小学校	●
住吉武道館	●	長居小学校	●	苅田南小学校	●
清水丘小学校	●	大阪学芸高等学校	▲	阪南高等学校	▲
墨江丘中学校	▲	長居幼稚園	●	我孫子中学校	▲
英明幼稚園住吉	▲	依羅小学校	●	苅田北小学校	●
遠里小野小学校	●	大阪公立大学(第2体育館)	▲	東我孫子中学校	▲
大和川中学校	●	我孫子南中学校	●	教育センター附属高等学校	▲
英明幼稚園遠里小野	▲	南住吉小学校	●	大阪府教育センター	—
東粉浜小学校	●	大空小学校	●	錦秀会住吉区民センター	▲
住吉中学校	●	三稜中学校	●	住吉区老人福祉センター	▲
住吉小学校	●	山之内小学校	●		
大領小学校	●	府立大阪南視覚支援学校	▲		

6 iisumiについて

▶各施設(病院、クリニック、薬局、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所)がスマホ等で被害状況等を入力することにより、区災害対策本部で情報の一括収集を迅速に行い、以降の支援計画の検討に活用

【イメージ】



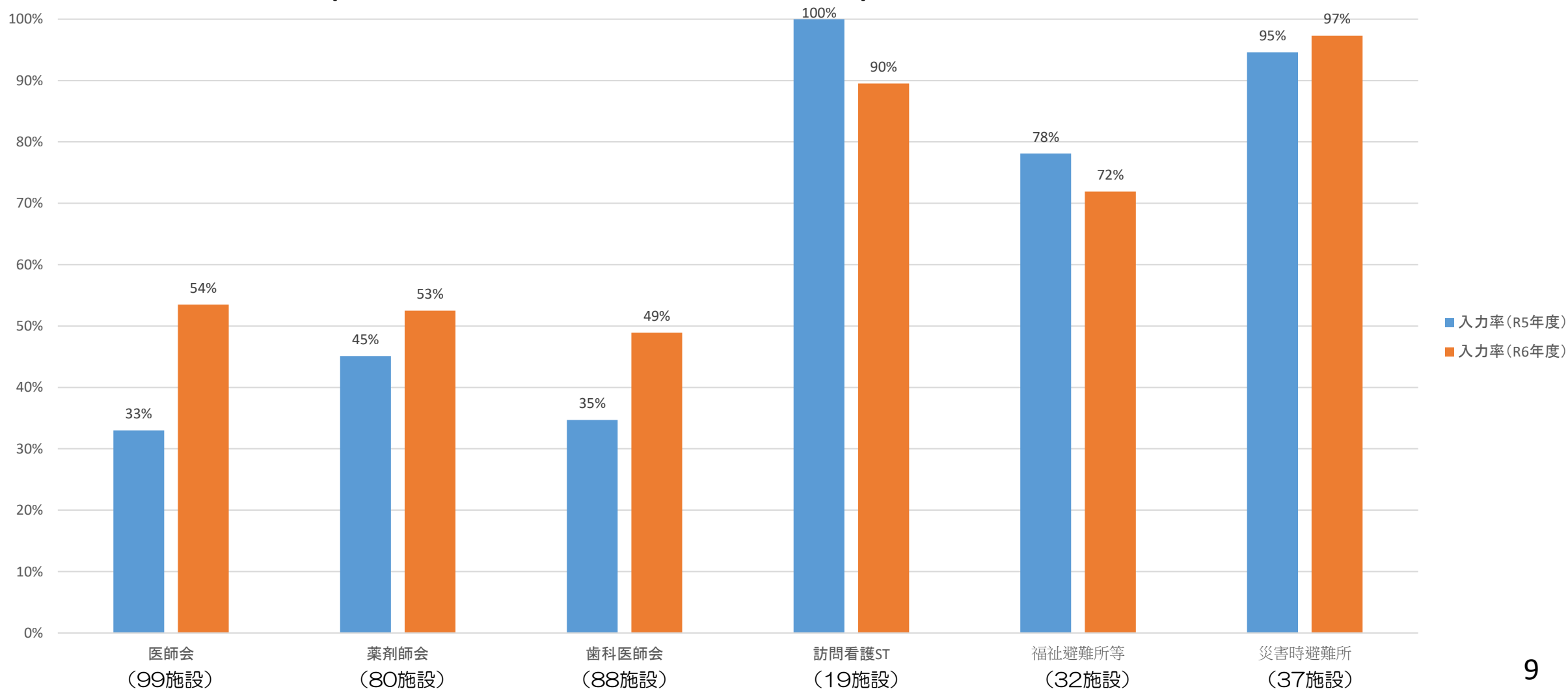
6 iisumiについて

【登録内容等の概要】

団体	iisumi登録施設数 (計355)	登録内容									
医師会	99	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
薬剤師会	80	開局状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
歯科 医師会	88	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
訪問看護 ST	19	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	全利用者数 (実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
福祉 避難所	32	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	利用者定員 (実数)	受入可能 人数(実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)
災害時 避難所	37	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	冷暖房 (可・不可)	食料 (充足・不足)	トイレ (充足・不足)	最大避難 受入可能数	避難者数／ 有症状者／ 要配慮者	職員数 (充足・不足)	

6 iisumiについて

【iisumi入力率(令和6年度総合防災訓練)】



7 訓練協力関係機関

機関名称	連携・協力内容
大阪急性期・総合医療センター	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
住吉区医師会	●iisumi通信訓練
住吉区薬剤師会	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
住吉区歯科医師会	●iisumi通信訓練
住吉区内訪問看護ステーション	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
福祉避難所・緊急入所施設	●無線・iisumi通信訓練 ●災害時避難所への搬送訓練
住吉区社会福祉協議会	●無線通信訓練
大阪市環境局	●太陽光発電設備の仕組みと災害時の利用方法の説明 ●ドント・コイ設置訓練
大阪市水道局	●応急給水体験
大阪国際交流センター	●災害時の外国人避難者受付訓練

8 訓練の様子(町会一時避難場所)



受付の設置



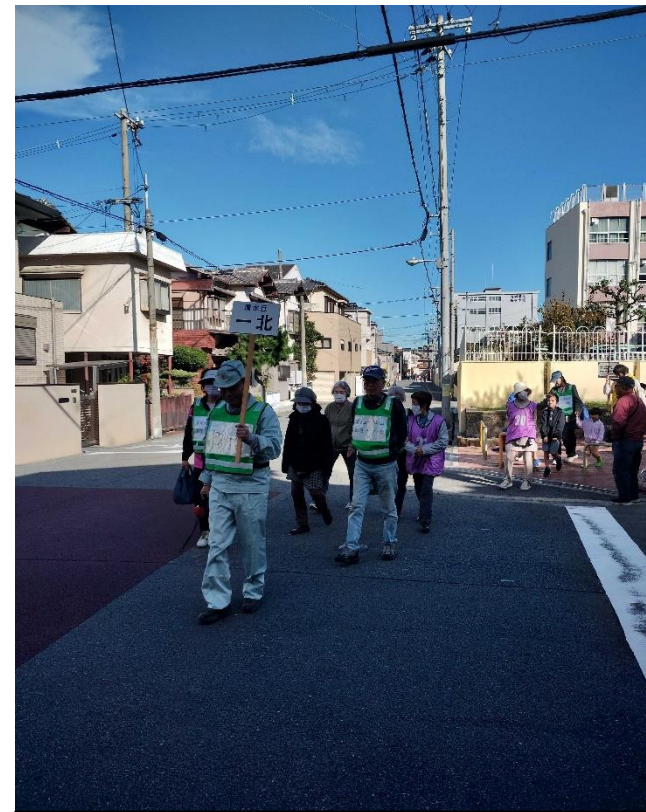
応急救助訓練(毛布担架)



初期消火訓練



応急救助訓練(AED)



避難誘導訓練

9 訓練の様子(災害時避難所)



避難所開錠



備蓄倉庫の確認



地域災害対策本部の開設



無線通信訓練

9 訓練の様子(災害時避難所)



福祉避難所への搬送訓練



一般避難者スペースの設え



簡易テントの組立(療養者スペース)



女性をはじめとする多様なニーズを反映した避難所運営
(プライバシー確保等)



発電機の確認

9 訓練の様子(災害時避難所)



災害用トイレ ドント・コイ



給水車からの給水訓練



外国人避難者の受付訓練



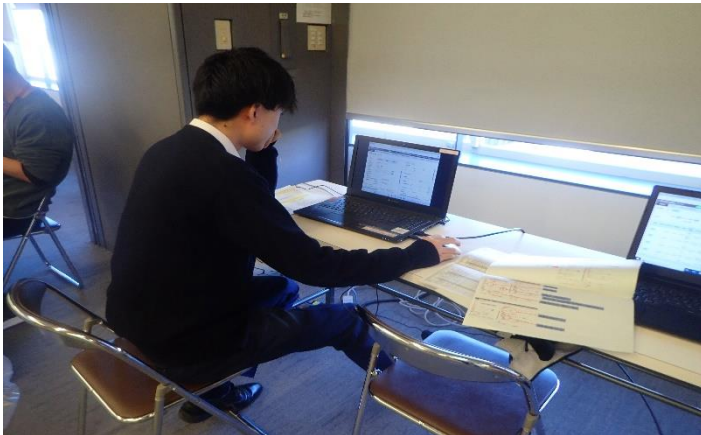
10 訓練の様子(区災害対策本部)



広報担当(X:旧Twitter等)



無線担当

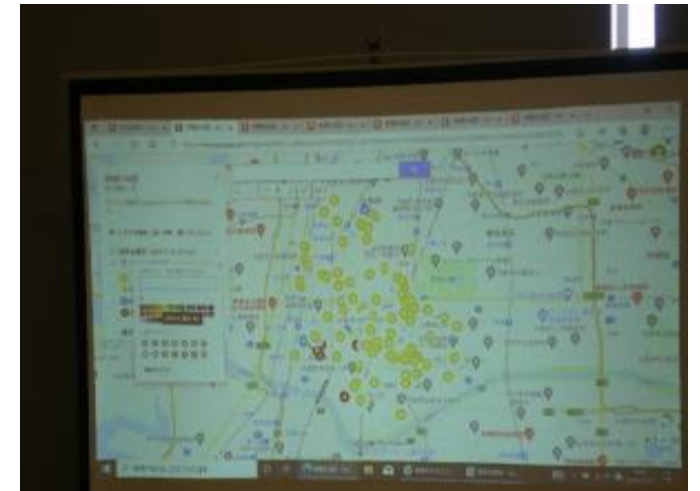


防災情報システム(市との情報共有)



iisumi担当(保健福祉班)

(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所から集約した情報をマッピングし可視化)

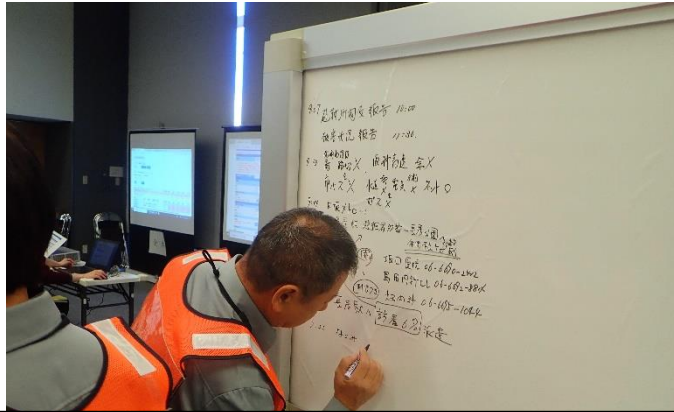


10 訓練の様子(区災害対策本部)



保健福祉班

(収集した情報をもとに救護所設置箇所等の検討及び記録の実施)

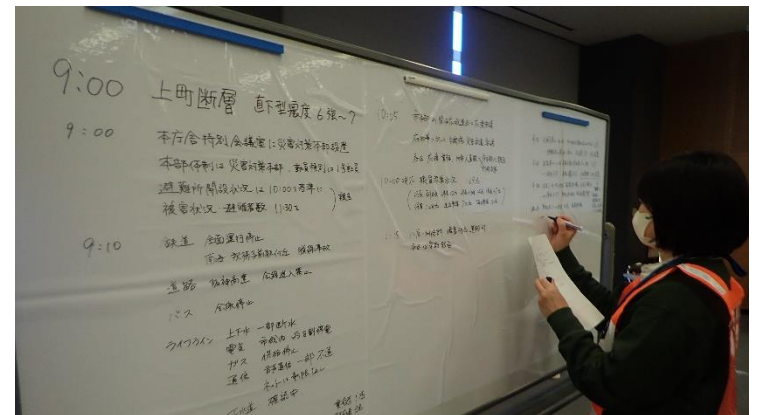


救助訓練



庶務班

(収集した情報をもとに被害状況等の集約及び記録の実施)



アンケート結果

回答者数: 1, 281名 (一時避難場所・災害時避難所で配布)

【世代別】

【性別】

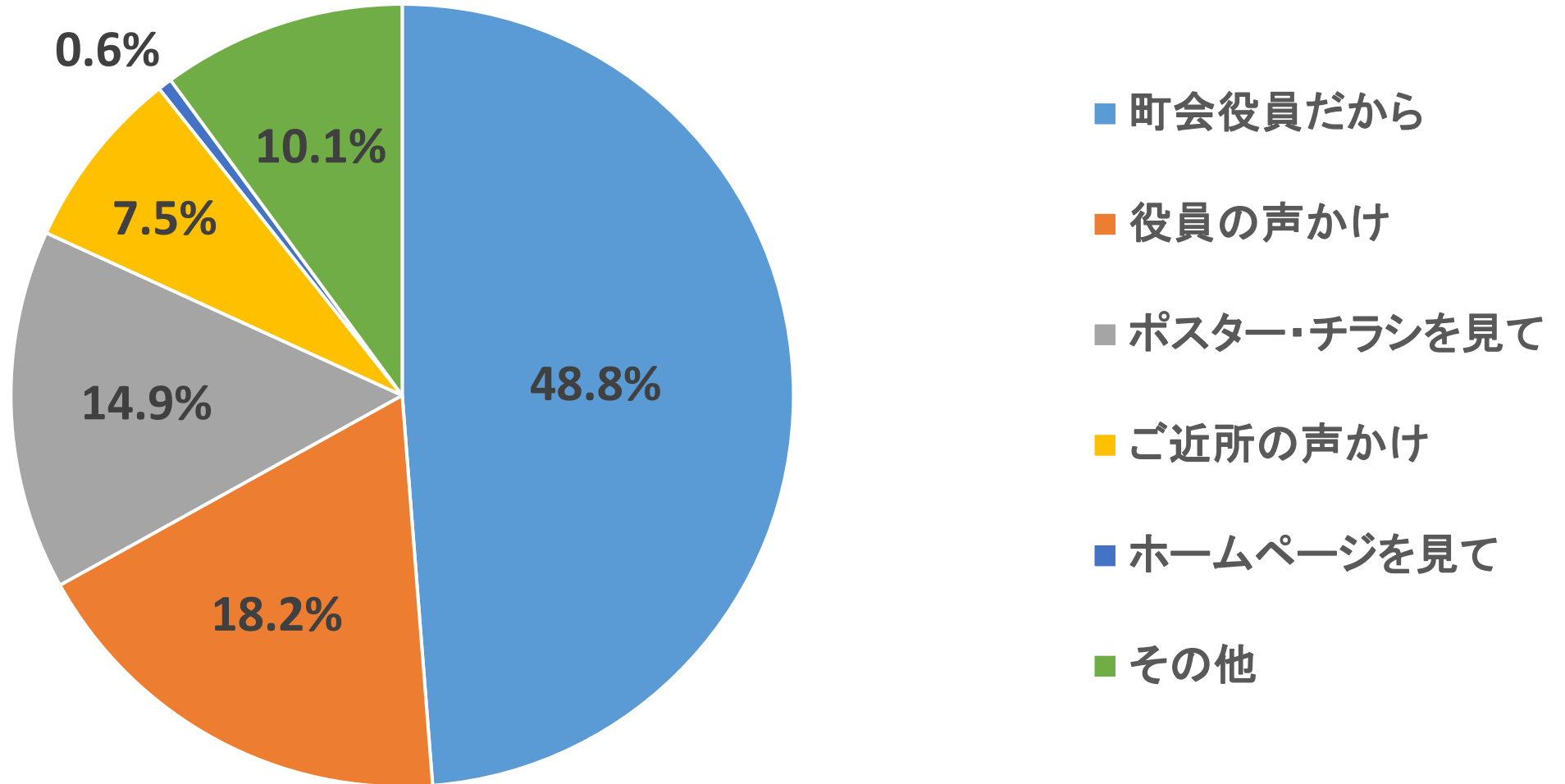
男 性: 477名

女 性: 690名

未回答: 114名

世代	人数(名)	世代	人数(名)
10歳未満	3	60歳代	216
10歳代	11	70歳代	359
20歳代	21	80歳代	209
30歳代	42	90歳代	20
40歳代	101	未回答	163
50歳代	136		
合計			1, 281名

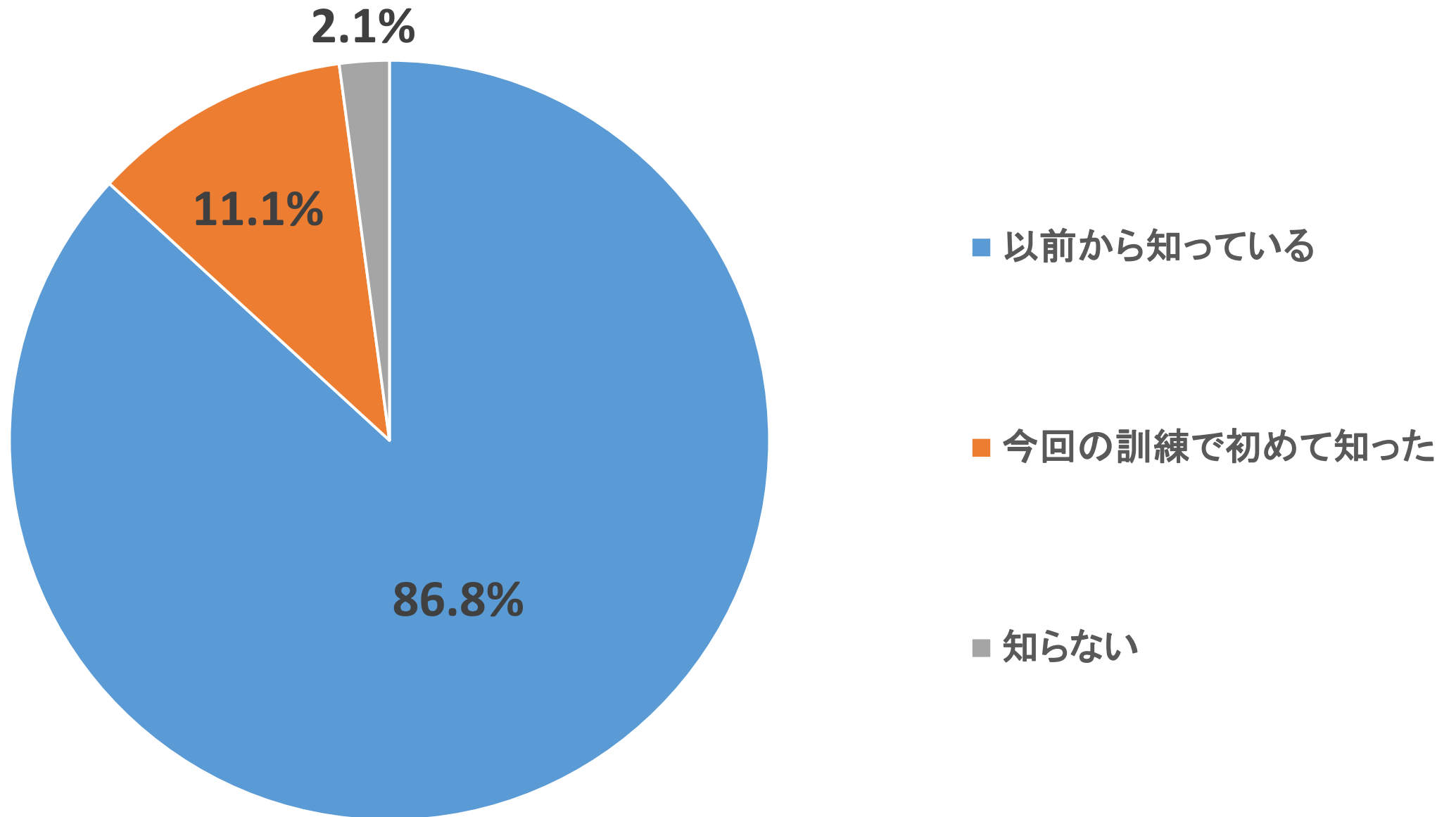
Q1 . 訓練に参加したきっかけを教えてください。



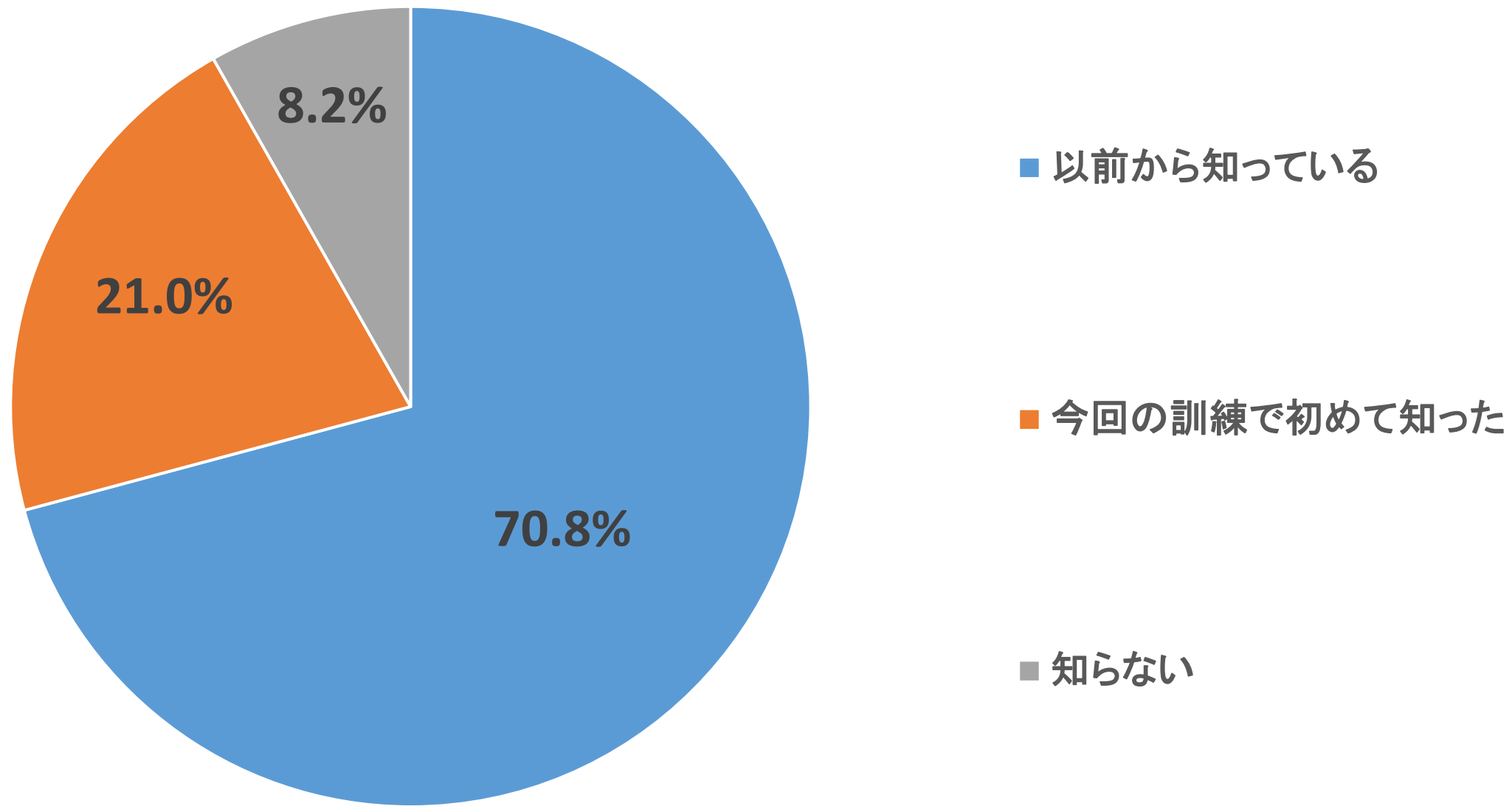
その他として、①回覧板を見て
②班長だから という意見がありました



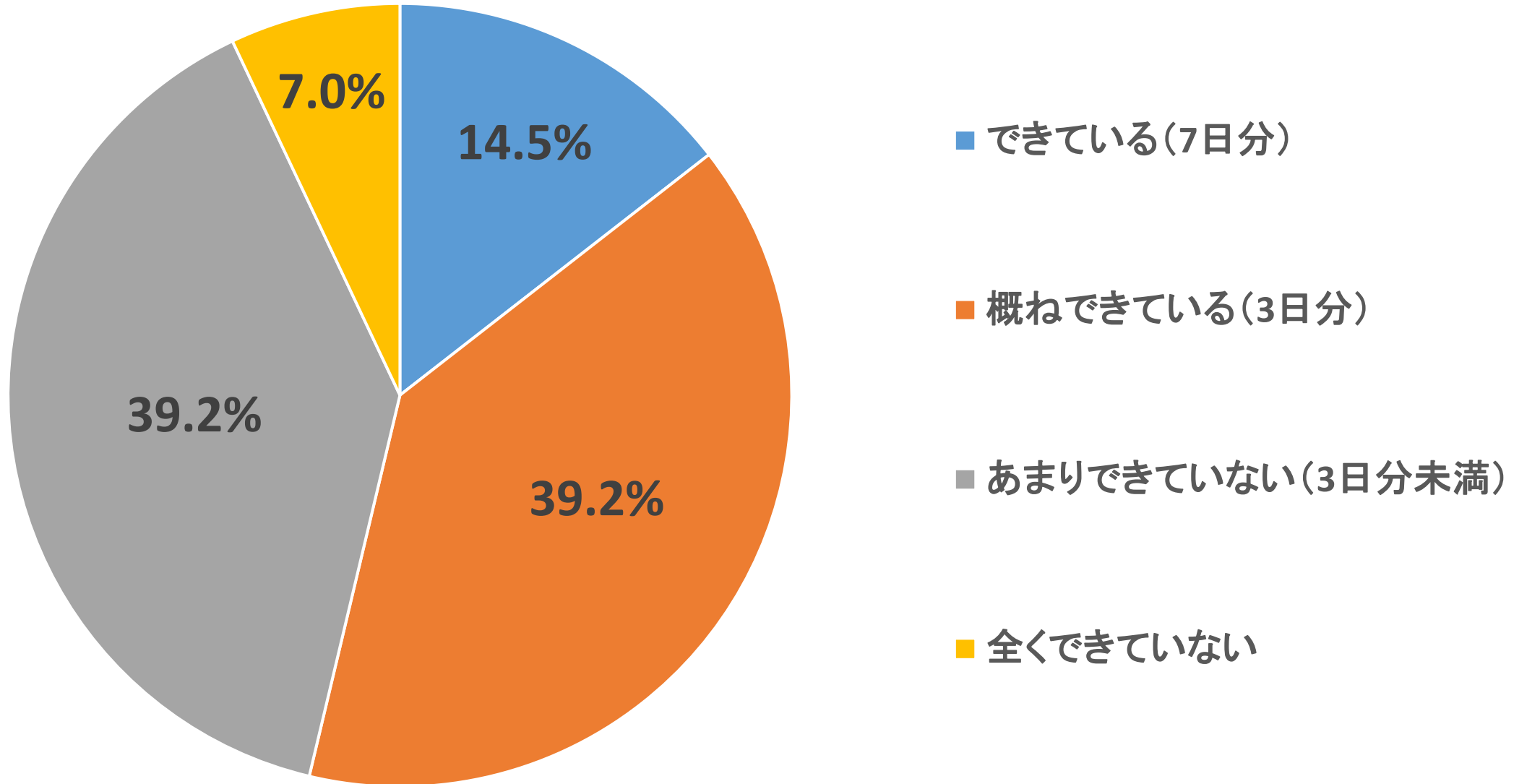
Q2.あなたは、一時避難場所がどこかご存知でしたか。



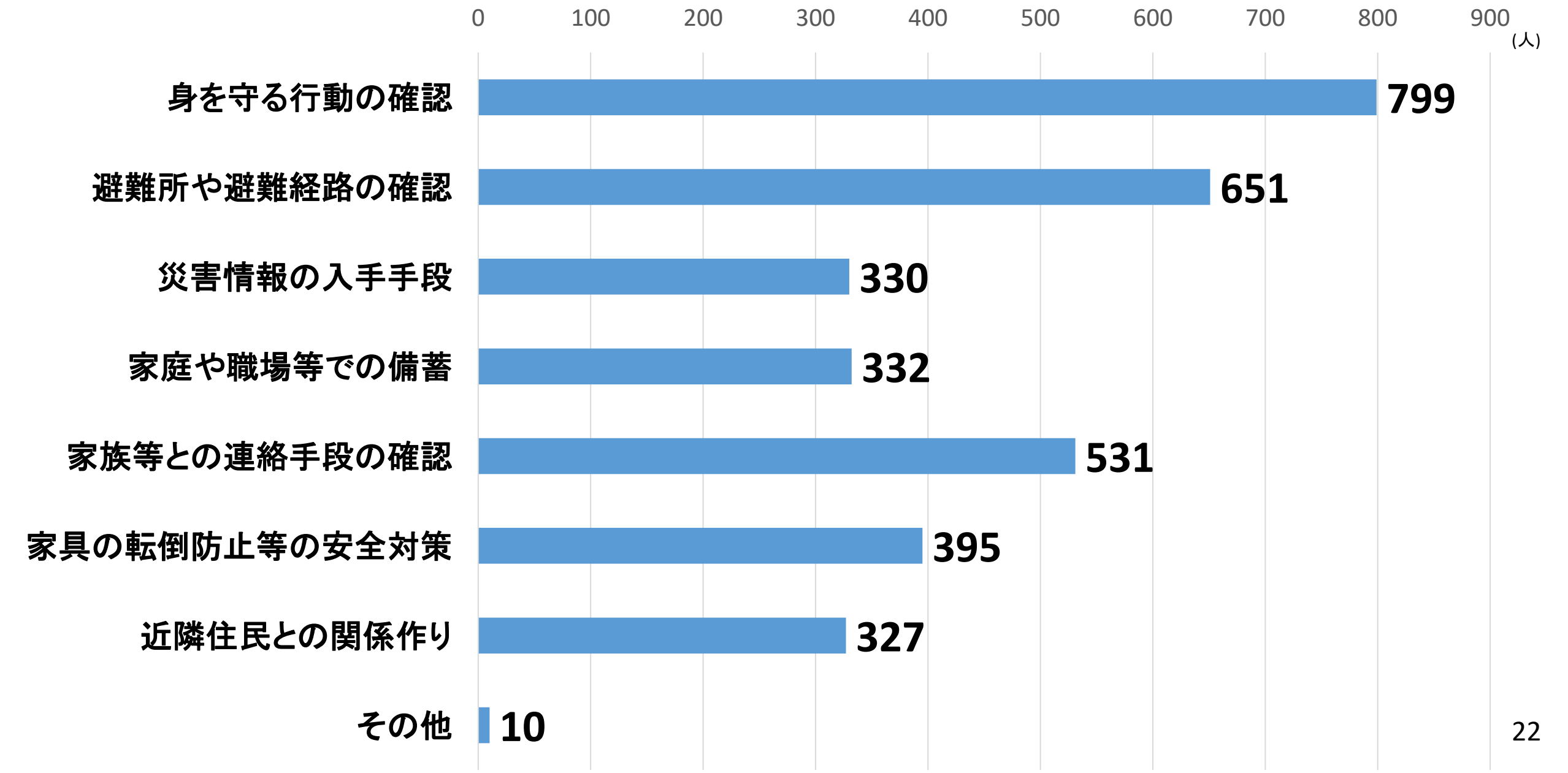
Q3.あなたは一時避難場所と災害時避難所の違いをご存知でしたか。



Q4.災害時に備えて家庭内で備蓄ができていますか。



Q5.災害に備えて、普段から意識できていることを教えてください。(複数回答可)



Q6 .多様なニーズを踏まえた避難所運営を行うために必要なこと(もの)は何だと思いますか。

【スペース】

- ▶ トイレの充実
- ▶ プライバシーの確保
- ▶ 授乳室、更衣室などの確保

【物資】

- ▶ パーテーション
- ▶ 車いす、スロープ、手すり、おむつ、生理用品等の確保
- ▶ 照明等の確保

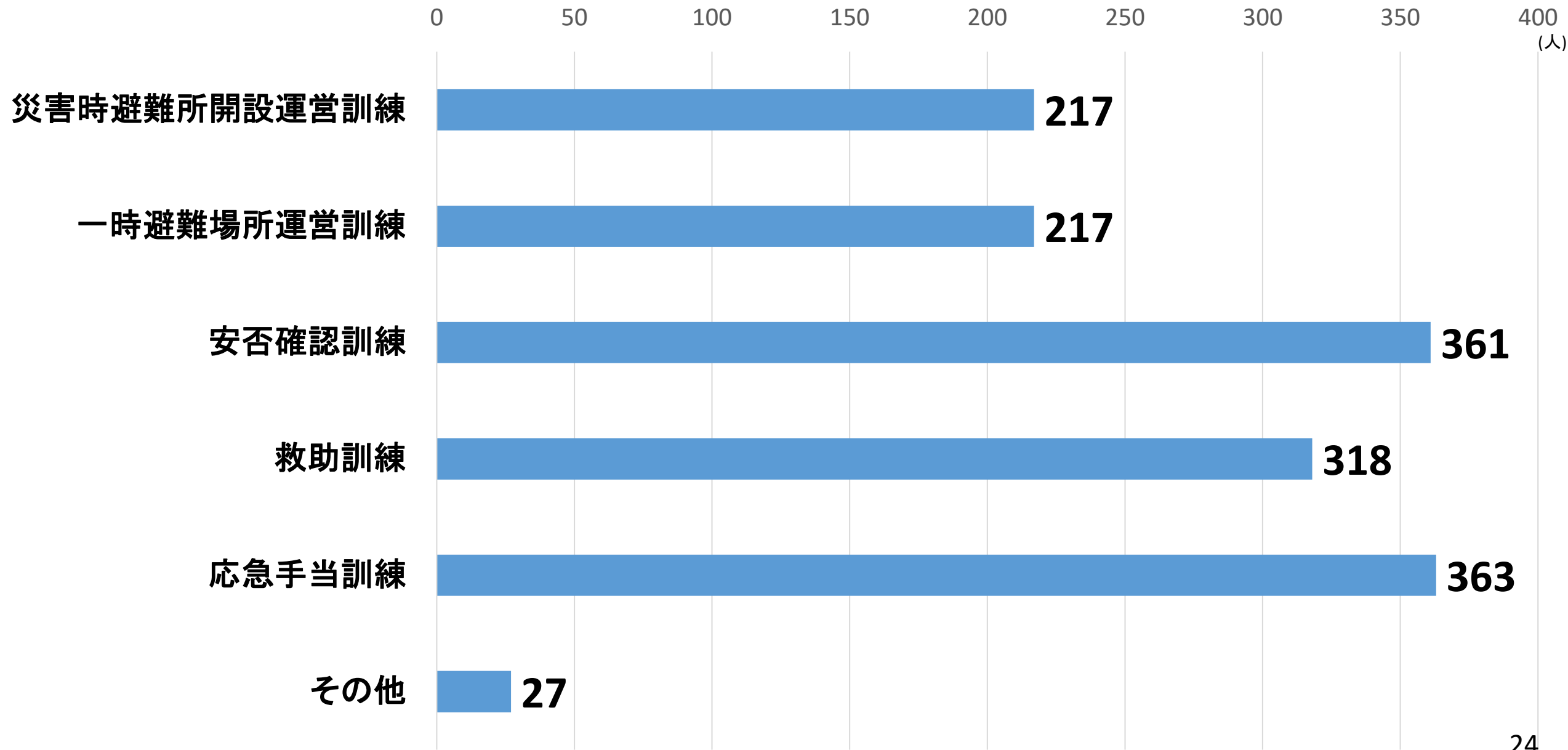
【体制】

- ▶ 避難所の運営に女性が参加すること、女性の防災リーダー
- ▶ 夜間の見回りや警備の実施
- ▶ 要配慮者への声かけ、普段からの関係構築

【その他】

- ▶ 要配慮者の訓練参加
- ▶ 福祉・医療経験者によるボランティアを多く募る

Q7.次回の防災訓練で実施したい訓練内容について教えてください。(複数回答可)



Q7.次回の防災訓練で実施したい訓練内容について教えてください。(複数回答可)

○その他の意見

【物資】

- ▶ 災害時の食料や備蓄について
- ▶ トイレ、水の確保を教えてください
- ▶ 排泄の実際と汚物の処理方法とその備品の紹介

【応急手当】

- ▶ 実際けがをするとどうしたら良いか。家の中での身の守り方について。

【その他】

- ▶ ペット同伴者への対応訓練
- ▶ 悪天候時の設営訓練
- ▶ 南海トラフ地震が起こったときどれくらいの被害があるのか
- ▶ 給水体験

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

○良かった点

【物資】

- ▶ ラップや新聞紙、毛布などがいろんな活用があると分かった。
- ▶ テントの組立や担架を経験できてよかった。
- ▶ 備蓄について教えていただいて、今年中に準備しようと改めて思いました。
- ▶ 避難場所や備蓄品が見られてよかった。
- ▶ 初めて訓練に参加させていただきました。避難時の流れ、備蓄等参考になりました。

【安否確認】

- ▶ 安否確認のタオルをかけてくれている家庭が増えている。

【応急手当】

- ▶ 災害時は救急車も来れないと聞いている。応急手当などの訓練は必ず役に立つ。

【その他】

- ▶ 家具の固定など、まずは自宅でできることから取り組もうと思った
- ▶ 地域・行政と一緒に訓練できたこと。繰り返し訓練を行うことで、新たな気づきも得られた。

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
1	防災スピーカーの音声が届かない。	・ 遮音性の高い住居や高層建築物の増加、騒音の影響などといった都市部を取り巻く環境によって、音が伝わりにくい状況になっています。 ・ 地震、津波、弾道ミサイル等による武力攻撃といった緊急事態の種類によってサイレン音のパターンを区別するなど取り組むとともに、音声が届き取れなかった場合には防災行政無線テレホンサービス(06-6210-3899)で放送した音声を聞くことができます。(通話料がかかります。)また、大阪防災アプリでも放送内容が確認できます。 ・ 災害発生時には防災スピーカーだけでなく、大阪防災アプリやおおさか防災ネットなどを用いて災害情報を伝達することとしており、皆様に必要な情報が確実に伝わるよう、引き続き、多様な情報伝達手段の周知に努めてまいります。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
2	ペットの避難についても考えておくべき。	・ ほとんどの避難所では、屋外の屋根のあるスペースにペット保管場所を設けています。なお、衛生上の理由から、居住スペースとは分離しています。 ・ 災害時地域協力事業所としてペットサロン(ペットの衛生管理)に登録いただいております。 ・ 「避難所開設・運営マニュアル」を精査し、地域や学校と連携しながら見直していきます。
3	訓練の参加者、特に若い人が少ない。	・ 区のホームページや広報紙、広報掲示板、X(旧Twitter)等で周知を行うとともに、事前に青色防犯パトロールカーでの広報を行いました。地域においては町会掲示板や町会回覧板等で周知をしていただきました。 ・ 今後も、より多くの住民に参加していただけるよう、周知方法等を検討します。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
4	備蓄倉庫の中身を表にして、倉庫の外側に貼っておくべき。	・ 備蓄倉庫の整理を行ったうえで、備蓄倉庫内に何が入っているかを扉の内側等に掲示していますが、より分かりやすくできるよう、改善に努めます。
5	災害時、プライバシーが守られるか不安になった。避難空間を快適にすることに予算を割いて欲しい。	・ 例年テント等のプライバシー確保のための物資を配備していますが、避難所によっては備蓄場所が足りなくなっている状況です。地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保とともに、物資の追加配備を検討します。 ・ 災害時は西日本段ボール工業組合との協定により、段ボールベッドや段ボール製間仕切り等が提供されることとなっています。 ・ 大阪市防災協定や、住吉区での災害時地域協力事業所の取組を通して、災害時の民間企業との連携を深めてまいります。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
6	安否確認のタオルは家族の誰かが無事でないときは出さないという認識でいいのか。また、タオルがかかっているかどうかの確認だけでいいのか？と思う。	・ 安否確認タオルの取組については、一般的に在宅避難や避難所への避難に関わらず、家族全員の無事を周囲に知らせるため、タオルを玄関先等に掲げていただくよう働きかけております。 ・ タオルをかけることにより、安否確認や救助を迅速に行うため、まずは訓練を通して多くの人にこの取組を知っていただきたいと考えます。 ・ また、地域によっては、救助が必要な場合はタオルの色を変えるなどの工夫や、実践的にタオルのかかっていない家の安否確認を実施されています。